



SV (Short visit) Program between Poly U and Shizuoka University

3 September, 2016 – 10 September, 2016
at Hong Kong Polytechnic University

1. Departure



- 目的地: 香港
- 人口: 723万
 - 時差: 日本 - 1時間
 - 元イギリス領
 - 世界都市



Member

- 矢内沙祐里 (齊藤研・M2・機械)
 - 山田量子 (松井研・M2・機械)
 - 仁科裕樹 (間瀬研・M2・化学)
 - 加藤由奈 (鳴海研・B4・化学)
 - 児玉有輝 (鳴海研・B4・化学)
- 引率: 齋藤先生、間瀬先生



2. Hong Kong

特徴

- ビルが多い
- 蒸し暑い
- 雨期 (6~8月)
- 交通量が多い (電車/バス/船)
- 露店が賑わう



3. The Hong Kong Polytechnic University (Poly U)

受け入れ先の大学



大学の歴史/特色

- 1994年~
- 学生 (外国人) が多い (16500人)
- 英語で授業 (国際基準の教育)



受け入れ先の先生: Asst. Prof. Tang Hui
Department of Mechanical Engineering

専門分野

- Aerodynamics
- Hydrodynamics
- Active flow control
- Fluid-structure Interaction
- Multiphase flow



研究室見学... 流体/超音波/航空/熱に関する研究設備が充実している
体験型の装置/部屋があり、理解が深まった



4. Presentation

研究発表

- Abstract A4 2枚
- Presentation 15分5分
- Shizuoka University: 5人
- Poly U: 4人

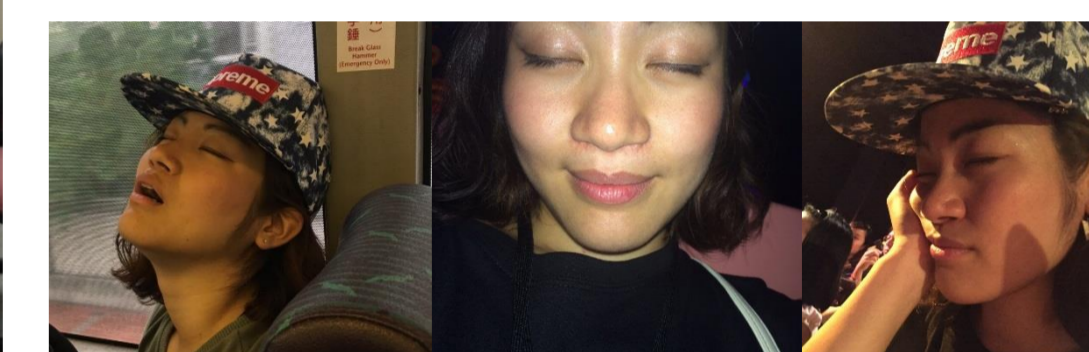
- SSSVIに参加することで英語で発表する機会を得ることができた
- 質疑応答では英語力の必要性を実感した
- 人に伝えることの難しさを感じた



齋藤先生の講演後、修了式



発表会終了!
最大のミッションが終了し、緊張から解放されて...



5. Cultural exchange

文化交流

- 香港ディズニーランド
- 寺 (啬色園黄大仙廟)
- 香港歴史博物館
- Victoria peak
- 食べ物/飲み物
- 香港流のFarewell party



6. Conclusion

学んだこと

- 国際交流を経て、かけがえのない経験を積むことができた
- 異なる分野の研究室から集まった5人での留学だったが、国際的経験を経て協調性/リーダーシップ/課題解決能力/行動力を発揮できた
- 現地の人々は優しく受け入れてくれ、安全に過ごすことができた
- 受け入れ先の学生と友情が芽生え、今後の交流につながることを確信した
- 英語での発表を通じて、コミュニケーションを取れることの楽しさを学んだ
- 英語を学ぶことで世界が広がる! 今後の英語学習に力を入れていきます

JASSO奨学金、山本基金奨学金による海外研究室との交流支援を運営して頂いたすべての諸先生方に感謝致します。
また、引率して頂いた齋藤先生、間瀬先生には多大な支援をして頂き、我々一同、心から感謝申し上げます。

英語を学ぶことで世界が広がる
香港での滞在を経て、他文化の価値観を学んだ